



2016年10月3日

PayPal Pte. Ltd.東京支店

ペイパル、日本のカントリーマネージャーに曾根 崇が就任

PayPal Pte. Ltd.（本社：シンガポール、東京支店カントリーマネージャー：曾根 崇、以下「ペイパル」）は、本日より日本のカントリーマネージャーに曾根 崇（そね たかし）が就任したことをお知らせします。なお、本人事の変更は旧カントリーマネージャーであるエレナ・ワイズのペイパル退職に伴うものです。エレナは3年半にわたりペイパルの日本市場での事業拡大に貢献してまいりました。

曾根は過去2年間マーチャントサービス担当ディレクターとしてペイパルを導入している国内のマーチャントに関わる活動を責任統括してまいりました。今後はカントリーマネージャーとして急成長を遂げている日本のビジネスを率いていきます。曾根は、日本市場におけるペイパルの認知度向上および、より安全なオンライン決済を日本のお客さまへ提供すべく業務を推進し、ペイパルの新規マーチャントの獲得および継続的なパートナーの拡大に貢献してまいります。

PayPal Pte. Ltd.東京支店カントリーマネージャー曾根 崇は「日本では2015年から官公庁、金融機関、スタートアップなどを中心にFinTechへの取り組みが活発化しました。ペイパルは1998年よりサービスを開始し、2010年に日本でサービスを開始した元祖FinTech企業の1社です。卓越したコンプライアンスチームを社内に持ち、各国における法令遵守を最優先に事業を展開してきました。長きにわたってFinance（金融）とTechnology（技術）の融合を第一線で進めてきたペイパルとして、日本のFinTech業界の発展に寄与できるよう、今後も尽力していく所存です。日本におけるペイパルのリーダーとなることを非常に嬉しく思います。」と述べています。

曾根は金融サービスおよびIT業界で10年以上におよぶ経験を有しています。PayPal Pte. Ltd.東京支店に入社後はコンシューマーアキュイジション担当ディレクターとして約1年間、日本市場における同社の成長に向けた基盤整備に従事しました。その後マーチャントサービス担当ディレクターとしてペイパル全ての国内マーチャントに対する戦略・活動の責任統括を先導してきました。

ペイパルのアジア太平洋地域上席副社長のローハン・マハデバンは、「日本はペイパルが注力しているアジア太平洋マーケットの一つです。ペイパルは日本でサービスを拡大し続けており、国内のマーチャントに安心・安全な決済手段を提供しています。曾根のリーダーシップの下、日本市場にはさ



らなるペイパルのイノベーションがもたらされ、ペイパルの事業規模がさらに拡大するのを期待しています。」と述べています。

～以上～

■ペイパルについて

ペイパルは 1998 年に設立以来、お金のやりとりをもっと自由に、もっと安全にすることを目指し、一貫してデジタル決済のイノベーションに努めてきた米シリコンバレーのフィンテックカンパニーです。ペイパルは、消費者に対して安心・便利なネット、リアルそしてモバイルでのショッピングや個人間送金（※1）を実現するデジタルウォレットサービスを提供する一方、ビジネスに対してはシンプルかつ低コストな決済ソリューションから、越境 EC・訪日観光 EC、モバイル・アプリ、シェアリングエコノミー(C2C スキーム)、または次世代ショッピング&デジタルコマースまで対応できる幅広いプロダクトやサービスを提供しています。現在では 202 の国と地域で、100 通貨以上での決済、57 通貨で銀行口座への入金（※2）、26 通貨（※3）での支払いの受け取りが可能なネット決済のグローバルスタンダードとして、1 億 8,800 万人および 1,450 万のビジネスが世界中でペイパルを利用しています。ペイパルは世界をリードするオープンデジタル決済プラットフォームとして、昨年約 50 億件の取引を決済し、うち 14 億件はモバイル決済でした。

ペイパルに関する詳細は about.paypal-corp.com をご参照ください。

また PYPL financial information については investor.paypal-corp.com をご参照ください。

ペイパルの日本語サイトは www.paypal.jp となります。

（※1） 日本では個人間送金および個人の銀行口座からの支払いには対応していません。

（※2） 日本では銀行への引き出しは、円のみです

（※3） 日本では 22 の通貨に対応しています。